

高岡市地域公共交通活性化推進協議会委員提案意見

提案委員	該当頁	内容	対応
高岡市連合自治会 藤田副会長	素案P27 施策2-2①	市民協働型地域交通システムについて本格運行に対し支援強化と明記してはどうか	市民協働型地域交通システムの本格運行支援については、将来的に自走していくことも意識する必要があるため、「支援の強化」ではなく「支援」のままとするが、地域の取り組みをきめ細かくサポートするため、本文の記述を修正 ⇒ 施策2-2①市民協働型地域交通システムのエリア拡大 ・地域が主体となって運行する市民協働型地域交通システムの導入エリアの拡大に向けて、地域住民や交通事業者と連携して事業化を推進するとともに、地域による調査活動や実証運行、本格運行など、各段階それぞれの取り組みを支援します。 に修正
西日本旅客鉄道(株)金沢支社 地域共生室企画課交通企画室 鹿野室長	概要P6 施策1-1③ 施策1-2④ 素案P25 施策1-1③ 施策1-2④	道路の整備に対して公共交通をどうしていきたいのか、その狙いも含めて読み取れるようにしてほしい	施策1-1③東海北陸自動車道の暫定2車線区間の4車線化 中京圏などへの円滑なアクセス確保のため、県や関係自治体と連携し、東海北陸自動車道の4車線化を目指します ⇒ 施策1-1③東海北陸自動車道の暫定2車線区間の4車線化 中京圏などへの円滑なアクセスを確保し、高速バス等の公共交通の拡充と交流拡大に繋げるため、県や関係自治体と連携し、東海北陸自動車道の4車線化を目指しますに修正
			施策1-2④能越自動車道の整備 県や関係自治体と連携し、広域観光ルートの形成、緊急時・災害時のネットワークの形成のため、能越自動車道全線の整備促進・早期完成を目指します ⇒ 施策1-2⑤能越自動車道の整備 高速バス等の公共交通網を活かした広域観光ルート形成による交流拡大に繋げるため、県や関係自治体と連携し、能越自動車道全線の整備促進・早期完成を目指します に修正
北陸信越運輸局 新倉課長	概要P9 素案P35	PDCAサイクルについて、掲げている方針ごとに施策の進行管理をしていく必要があるのでは	計画案において、施策の進行管理体制を整理する
	全体	通学や通勤利用も踏まえ、高齢者だけでなく、若い世代や現役世代など、世代に応じた公共交通利用を意識する必要があるのでは	基本方針4に基づく施策4-1①モビリティ・マネジメントの推進に、「・ライフサイクルの各シーンに応じ、公共交通の利用促進、意識啓発に取り組みます」を記載
あいの風とやま鉄道(株) 助野専務取締役	概要P4 基本理念	鉄道事業再構築実施計画の策定において、あいの風とやま鉄道も含めて記載していただきたい	基本理念「富山県、沿線4市、JR西日本により城端線・氷見線再構築検討会を設置し、鉄道事業再構築実施計画を策定しました」 ⇒ 「7月に城端線・氷見線再構築検討会が設置され、富山県、沿線4市、JR西日本、あいの風とやま鉄道により鉄道事業再構築実施計画を策定しました」に修正
	概要P6 施策1-2 素案P25 施策1-2	新高岡駅・高岡駅の利用者数の増加に向けて、あいの風とやま鉄道も利用促進に向けた取り組みを展開しており、これらについても施策の内容として記載いただきたい（P29施策3-1①のダイヤ等の改善・相互調整の記載内容の再掲など工夫ができないか）	施策1-2に「③あいの風とやま鉄道の利便性向上」を追加 ⇒ ③あいの風とやま鉄道の利便性向上 ・県や沿線市、交通事業者と連携し、あいの風とやま鉄道の利用促進、利便性向上の取り組みを進めます
富山県 交通政策局交通戦略企画課長代理 谷村主幹	素案P28 施策2-4	「国や県と連携」とあるが、高岡市単独で行っている事業もあるため、市が積極的に担い手確保に取り組んでいることを示した方がよいのでは	施策2-4 国や県と連携した担い手確保の推進 ⇒ 施策2-4 担い手の確保 に修正